



天狗山より町を一望



西川町 議会だより

2011.7.15 77号

発行 山形県西川町議会

初 議 会	議会の構成決まる	……2
6月定例議会	コーポ睦合購入 中学3年生までの医療費無料化 東日本震災 西川町の仕事にもこんな影響が…	……4 ……6
町の防災対策など	8人の議員が一般質問	……7
西川町を知る	新シリーズ『古道』	……16

第1回臨時議会（初議会）5月9日

議会の構成決まる

議長に 井場 榮治 副議長に 宮林 昌弘



議長就任のあらわし

井場 榮治

このたび、議員皆様方よりご推挙をいただき、議長職に就くこととなりました。

宮林昌弘副議長とともに新体制のもと、議会運営に誠意努めます。

町への将来に対する期待がもて、安心して暮らせる町づくりを本気になって考え、町民の皆さんの意向に的確に答えられるよう努力いたしますので、ご指導とご協力をお願い申し上げます。

初議会ってなあに？

選挙終了、議会活動を行った町議会議員の初議会

議会は、選挙で選ばれた議員で構成される合議体です。

議員が決まっただけでは、議会活動はできません。

議会活動を行うためには、会議を主宰する議長を決めたり、議員が着席する議席（座席）を決めたり、調査や審査を行うための常任委員会を設置するなど、議会の内部構成を整える必要があります。

そのために行う議事を「初議会」といいます。

町議会議員の仕事ってどんなこと？

「町行政の政策の最終決定」と「行財政の批判と監視」を行います。

具体的政策を最終決定

議員は、住民の代表として、町が実施しようとする政策に対して、議会の本会議や委員会での質問や質疑、修正等を行うことで、政策の形成に参加し、予算、契約、条例等を審議することによって、最終的な政策の決定を行います。

行財政運営の批判と監視

議会が決定した政策の執行が適法・適正に、しかも公平・効率的に、そして民主的になされているかどうかを、住民全体の立場に立った視点で、批判（いい点については正當に評価し、欠陥については徹底的に指摘すること）し監視します。

そのため、常に町民の皆さんと対話を重ねて調査研究を進め、住民全体の福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指して、日々懸命に努力することが議員の大切な仕事となります。

委員会の構成は次のとおりです

議会運営委員会

委員長	古澤 俊一
副委員長	青山 知教
委員	佐藤 幸吉
委員	奥山 敏行

議会の運営や会議規則、委員会条例、議長からの諮問に関する事項を担当します。



総務厚生 常任委員会

- | | | | | |
|----|----|----|------|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員 |
| 長 | 員 | 員 | 員 | 員 |
| 青山 | 奥山 | 古澤 | 佐藤 | 青山 |
| 知教 | 敏行 | 俊一 | 耕二 | 知教 |
| | 修 | | | |

総務企画課、町民税務課、出納室、健康福祉課、町立病院、教育委員会等に関する事務事業を所管します。



産業建設 常任委員会



産業振興課、建設水道課、農業委員会に関する事務事業を所管します。

- | | | | | |
|----|----|----|------|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員 |
| 長 | 員 | 員 | 員 | 員 |
| 佐藤 | 伊藤 | 井場 | 伊藤 | 佐藤 |
| 幸吉 | 哲治 | 榮治 | 昌弘 | 幸吉 |
| | | | | |

広報公聴 常任委員会

- | | | | |
|----|----|------|----|
| 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員 |
| 長 | 員 | 員 | 員 |
| 奥山 | 飯野 | 横山 | 奥山 |
| 敏行 | 咲子 | 修 | 敏行 |
| | | | |

議会活動の広報公聴と、議会活動への町民のみなさんからの意見の聴取に関することを担当します。



「常任委員会」 ってなあに？

西川町議会では、3つの常任委員会を設置しています。委員会には、次の権限が与えられており、議員は、必ず1つの委員会に所属し、仕事を行います。

調査権

常任委員会は、それぞれの所管の事務事業について、調査します。

調査事項の実態を把握し、分析して問題点を捉え、そして、問題点を解決するための改善策や対応策はどうあるべきかについて結論を出します。

審査権

議案や請願等の内容をよく検討して、可決あるいは修正可決、否決いずれがよいか、また、採択すべきか、不採択とすべきか、いずれがよいかについて結論を出します。

西村山広域行政事務組合議会

- | | | |
|----|----|----|
| 議員 | 議員 | 議員 |
| 井場 | 青山 | 佐藤 |
| 榮治 | 知教 | 幸吉 |

西川町町有林運営委員会 (議会選出)

- | | | | |
|----|----|----|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 |
| 井場 | 宮林 | 横山 | 佐藤 |
| 榮治 | 昌弘 | 修 | 耕二 |

西川町林業活性化議員連盟

- | | | | | | | |
|----|-----|-----|----|----|----|----|
| 会長 | 副会長 | 幹事長 | 幹事 | 幹事 | 幹事 | 監事 |
| 井場 | 宮林 | 佐藤 | 青山 | 伊藤 | 佐藤 | 古澤 |
| 榮治 | 昌弘 | 幸吉 | 知教 | 哲治 | 耕二 | 俊一 |

西川町道路整備促進協議会

- | | | | | |
|----|----|----|----|----|
| 会長 | 理事 | 理事 | 理事 | 監事 |
| 井場 | 宮林 | 佐藤 | 古澤 | 俊一 |
| 榮治 | 昌弘 | 幸吉 | | |

西川町監査委員(議会選出)

- | | |
|----|----|
| 古澤 | 俊一 |
|----|----|

西川町農業委員(議会選出)

- | | |
|----|----|
| 伊藤 | 哲治 |
|----|----|

コーポ睦合購入決定!

7月1日から入居開始

6月定例会では、人権擁護委員の推薦、コーポ睦合の取得と管理条例の設定、東日本大震災被災者救済のための税条例の一部を改正する議案を審議し、全て原案どおり、全員賛成で可決しました。

人事

●人権擁護委員候補者の推薦

柴田万喜子さん (睦合)

全員賛成

条例

●賃貸集合住宅条例の設定

雇用促進住宅を町賃貸住宅「コーポ睦合」とするために条例を設定

全員賛成

財産取得

●雇用促進住宅睦合宿舎の取得

全員賛成

●町税条例を一部改正
地方税法の一部改正による条文の改正

全員賛成



見てきました。こんなにきれいになりました。



財産の取得と条例設定

定住化対策の一つとして、雇用促進住宅睦合宿舎を、独立行政法人雇用・能力開発機構から購入し、西川町賃貸集合住宅「コーポ睦合」として、低価格で利用できるようにします。

建物は、購入の前に、内装等の改修工事をしてもらいます。

7月1日から入居ができるようになります。

質

トイレに蓋がない。シャワー付、蓋付にできないか。また、家賃は、もっと安くできないのか。

答

今後、検討していく。

質

部屋の内装だけではなく、外壁のカビ除去も行った状態で購入すべきでは。

答

機構に申し入れをしており、予算の範囲で検討してみるとの回答を得ている。

質

安心して暮らせるように、管理人は常駐体制とすべきではないか。

答

常駐とまでは行かないが、毎日、一定時間は管理人がいる体制を検討したい。

補正 予算

中学3年生までの医療費を無料にします



平成23年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに6,014万円を追加し、46億6,789万円としました。補正の主なものは、中学校までの医療費を入院外来ともに無料に、高松駅までの高校バス通学の増便対策、スクールバス購入費、公共施設や農林土木の雪害対策、東日本大震災後の観光振興事業、地ビール製造機械等の修繕など、一般会計、特別会計ともに原案どおり、全員賛成で可決しました。

補正予算・主な内容

歳入	
国補助金（社会資本整備総合交付金など）	△3,285万円
県補助金（雇用創出補助金など）	238万円
町有財産貸付収入（コーポ睦合家賃収入）	348万円
基金繰入金（公共施設長寿命化対策基金より）	2,000万円
諸収入（雪害共済金等）	895万円
町債（スクールバス購入のために町が借りたお金）	3,320万円
前年度繰越金	2,498万円
歳出	
中学3年生までの医療費無料化	519万円
女性のためのがん検診費用助成	15万円
町営集合住宅コーポ睦合の管理費等	662万円
高校通学バス増便のための路線バス事業への繰出金	300万円
出納、土木、森林部門の臨時雇用職員賃金	352万円
雪害等による土木施設災害復旧測量委託	80万円
雪害等による農業関係の復旧	342万円
雪害による休校舎、大井沢温泉館等の屋根等修繕	532万円
交流センターあいべの修繕等	97万円
地ビールと自然水製造工場の大規模修繕費	2,094万円
被災者の受入れに要する費用	903万円
震災後の観光客減少の復興対策	265万円
スクールバス購入	5,477万円
総合産業化推進関係委託料	394万円
社会資本整備総合交付金事業	△6,349万円
農業集落排水事業：月岡地区汚泥ポンプ修繕	97万円
公共下水道事業：停電に備え非常用発電機購入	46万円
水道事業：浄水処理施設の管路整備	94万円

質疑・応答

一般会計

質 総合産業化の委託とは。

答 総合開発株式会社で、町の農産物を使ったメニューや加工品の開発を委託するもの。

質 農業における雪害対策費はこれで足りるのか。

答 雪よけハウス、苗木等の被害額の2分の1を助成するもの。

質 赤字続きである総合開発株式会社の地ビールと自然水工場の大規模修繕工事。直したからには売り上げが上がる取り組みを。

答 地ビールや自然水の品質を維持するため、老朽化した機械を修繕するものであり、今後は更に経営改善に力を入れていく。

質 雪害による公共施設の屋根修繕が目立つが、管理はどのように行っているのか。

答 これまで、各部署において管理を行い、被害を防いできたが、今年は、これまでにない厳しい冷え込みが続く、自然落下の屋根の雪が落ちなかったために生じた破損が多い。

今後は、今年の冬を教訓として対応を考えていく。

質 稲沢橋の補修工事の詳細は。

答 橋台部分の修復を行うものであり、工期については寒河江市との境界となる橋であるために、今後寒河江市と協議して進めることになる。

水道事業会計

質 浄水処理施設の管路用地の購入は、施設を設置したときに対応すれば登記委託料は1度で済んだのでは。今後このようなことはあるのか。

答 当初、管路は、掘削後に埋め戻して現況復帰することで計画したが、現況復帰は難しいことが分かったため、変更した。当初の考え方が甘かった。今後このようなことは致しません。

東日本大震災

西川町の仕事にもこんな影響が…

西川小学校のプールとグラウンドの工事が遅れそうです

6月7日の議会全員協議会の中で、教育委員会からは、東日本大震災の影響により、現在建設中の西川小学校のプールとグラウンド工事について、国から、「当面は国の予算内示が見込めない。」との連絡が入ったことの報告がありました。

教育委員会では、出来るものから準備を進めていくとのことです。
また、定例議会の中でも、22年度に予定していた事業が23年度に繰り越して実施されていることや、工事関係でも資材の納入が遅れて、23年度になってから終了した事業についての報告がありました。

■震災の影響があった主な事業	
個人認証システム整備	物流停滞による納品遅れ
水の文化館「川雑魚館」整備	資材調達・人手不足
園芸ハウス整備	資材納入の遅れ
流雪溝整備	〃
水道配管移設工事	〃
西川小学校等の配水管布設工事	〃
西川小学校線道路改良工事	〃
全国瞬時警報システム整備等	〃



株式会社の経営状況報告

■第20期西川町総合開発株式会社
経済の低迷、高速道路無料化による交通量の減少、東日本大震災と続き、2、335万円と、大きな営業損失を出した。
21期に向けては、マイナスイ要因は続くと思われるが、社員一人ひとりが確実に利益の確保を図っていく。

■第5期株式会社米月山
県や町からの事業委託料等946万円などもあり、単年度では、初めて2009万円の黒字となった。
しかしながら、設立してからの累計赤字額は、2、209万円であり、今後より一層の経営努力を行う。

被災地に行ってきました

6月23日、広報公聴常任委員4名で、宮城県石巻市でのボランティア活動に参加しました。
寒河江青年会議所が募集した「泥のかき出しボランティア」に参加したのですが、当日は、雨が降ったので、予定されていた泥かき出しの作業は中止となりました。
そのかわりに津波の被害を受けたホタテ養殖用の貝殻の中から、使えるものをより分ける作業を行いました。
また、現地を案内していただきましたが、小さな漁村での復興は、まだまだ手付かずの状態、胸が痛むような光景があちこちに見られ、これからも多くのボランティアが必要だと感じました。
議会では今後も機会を捉えて参加したいと思っています。





宮林 昌弘 議員

東日本大震災の間接被害と防災対策をどうするか

町長 マスコミを使った誘客活動と自発的な防災活動ができる体制づくりを進めていく

質 東日本大震災で未曾有の大災害となり、自粛ムードで、観光客が激減している被害の実態をどう捉え、今後の観光誘客対策をどう考えているのか。

答 町内の観光客減少は、旅館、民宿のみならず飲食店や商店にも大きな影響を及ぼしています。誘客対策として情報誌への掲載、テレビ、ラジオへの広告、新規旅行商品の企画等を実施していきま

す。また、原発事故の風評を払拭するため、県に安全宣言を行っていただくよう要望をしています。

質 今後、「寒河江ダムは本当に大丈夫



参加者が少なかった、月山スキー場開き

なのか？」ダムの安全性について、町長から確認してもらいたい。

答 寒河江ダムは、建設省河川構造令に基づき建設され、設計震度は5となっていました。

この設計震度は、過去のデータや2〜300年確率の期待震度、ダム設計基準等に基づき決定され、今回

は基礎部で震度3、堤体上部で4を観測しました。直ちに被害調査を実施したが、異常はありませんでした。ダムの管理には、各種観測設備と外部変位等の提体観測と提体内部の点検を実施しており、万全を期しています。

以上が最上川ダム統合管理事務所の見解です。

重大な災害が発生または発生の恐れがある場合、適切に災害対処すること等について、東北地方整備局長と協定を締結しています。

質 各種災害を想定し、避難場所や経路、訓練等、地域防災計画の見直しと実働的な自主防災組織を結成すべきではないか。



寒河江ダム

答 国では、「防災基本計画」の抜本的な見直しを行ない、今秋まで結論をまとめることになっており、県も地域防災計画を見直すことになっています。

町でも国や県の防災計画と整合性を図る必要があることから見直しを行います。

自主防災組織は、秋に予定している「町長と語る会」で、自発的な防災活動ができる体制づくりや行政と地域住民の役割分担等危機管理のあり方を話し合います。

質 電源の町として、停電の際、最優先的に停電復旧協定を締結できないか。災害時や農業用の小水力発電機の実験事業ができないか。

答 東北電力とは災害時の協力協定を締結しており、病院や役場、消防署等の拠点施設への復旧を優先することになっています。

農業用水路を利用した小水力発電については、可能性調査を現在行っており、今後更に詳しく調査を行います。

※期待震度とは
未来に起こりうることを予期して設定した震度のこと。



伊藤 哲治 議員

「自信と誇りを持ち豊かさが実感できる町」にするには

町長 産業の活性化推進と交流人口の拡大を図っていく

質 小川町長が就任されて1年を経過し、町長自身が掲げた政治姿勢について、この1年を振り返って自らのように評価しているのか。

答 町長就任後、政策の意思決定機関として経営戦略会議の設置、商工観光行政強化のため主幹の配置、6月の定例議会には政策経費を補正予算に計上その後、公約実現のため第5次総合計画後期実施計画の策定、9月からは地域座談会等の開催、そして予算編成を行いました。

また、今年度は政策を着実に進めるため総合産業推進係、政策推進主幹の設置などを行いました。引き続き

夢のある元気なまちづくりに努めていきます。



質 「自信と誇りを持ち豊かさが実感できる町」にするには何としても町民一人ひとりの所得の向上が欠かせないと考えるが、そのために農林業、商工業、観光等の振興を第5次総合計画後期実施計画の中でどのように展開して行くのか、またその方策は。

答 農業については、組織の育成を図り、生産、加工、流通まで含めた6次産業化を目指し努力していきます。林業では、伐採、搬送のコストダウンを図る事業を導入し、経営が成り立つ体系を構築していきます。

観光については、西川町の自然環境を活かした観光、体験プログラム等を提供し、交流人口の拡大を図っていきます。

また、商工業は、町内商店や既存企業への支援として、地場産品愛用運動やプレミアム付き商品券などを通して活性化対策を図っていきます。

質 高齢者が人口の半数以上を占める限界集落についてどう認識し、今後どう対処していくのか。

答 いわゆる交通弱者の方々から日常生活用品を自ら買い求めるには、移動販売車の利用が最も好都合であると推察されますので、商工会等を通じ町内業者の方々と話し合いを行っていきます。

なお、移動販売車の営業ができない地域には、「けんこう弁当配達事業」の中で生活用品の注文受付、配達などができる体制を検討していきます。

質 高齢者が人口の半数以上を占める限界集落についてどう認識し、今後どう対処していくのか。



庭先まで来てくれる移動販売車

※限界集落とは住民の半数以上が65歳以上となり、共同体としての維持が限界に近づいている集落のこと。



横山 修 議員

成長産業として林業・木材産業の振興を図るべき

町長 林業経営が成り立つよう対策を考える



質 各分野で国産材への転換が図られ、林業に対して大変な追い風が吹いている。この状況を町民へ情報提供すべきと思うが町の対応は。

答 木材の情報を、どういった形で町民に提供していったらよいのか、森林組合、製材組合等関係機関と連携しながら検討していきます。



杉の枝打作業

質 町内における大規模森林所有者である財産区を林業経営体として捉え、指導・支援すべきと考えるが、町の対応は。

答 財産区も一つの経営体と捉え、個人経営体も含め、共同化・集約化を進め、森林業計画を策定し、森林経営が成り立つよう対策を考えていきます。

質 伐採搬出コスト削減のため林道整備が必要と思うが町としての目標や対応は。

答 間伐・保育・伐採・搬出を進める作業道については、年次整備計画を作成して進めているところです。

質 林業と製材業は一体的な存在であり、木材を活かすには製材業の活性化が必要と考えるが、支援、助成する考えは。

答 経営面では、融資事業を行っていませんし、機械設備については、国、県の補助事業を活用しながら、町でも補助を行い、支援していきます。



町内の製材工場



佐藤 耕二 議員

西川町地域防災計画の見直しを

町長 平成24年度以降に全地区完成となる見込

質 本町は、土砂災害や水害などの可能性が高い。砂防ダムの安全性は？

また、避難所などの防災計画見直しとハザードマップの作成について。

答 町防災計画の見直しは、昨年度テ

ータ化作業を終了し、今年度から作業に着手する予定でしたが、今回の震災を踏まえ、国や県の防災計画見直しとの整合性を図る必要があるため、これらの情報を入手しながら見直し作業を進めています。町内にある砂防ダムは重力式コンクリートであり、安全性は確保されていると考えています。ハザードマップは、



大井沢地内の砂防スリットダム

土砂災害防止法に基づき、警戒区域に指定されたものをベースに防災マップを作成します。昨年度は、4地区が指定され地元説明会を開催し、今年度ハザードマップづくりに着手します。全地区の完成は24年度以降になる見込みです。

質 5月末で消防団の定員が300名に對し、279名で21名の減。地域によっては、自衛消防団をつくる必要があるのでは。

答 現在の消防団は、平成15年度に高齢化や人口減少等に伴い団員の確保が難しくなり、組織の再編成を行っております。定数の問題は地域ごとに実情等が異なり、難しい事案なので、地域から相談があれば、自主防災組織も視野に入れ、協議していきたいです。



質 毛布等の寝具や食料、暖房器具などの非常用備蓄状況は。

答 非常時の毛布等は、現在75枚備えています。災害発生時には日赤から必要数量を支障いただけます。又、非常食等の備蓄は、当町の場合農家が多いので、支援が届くまでの間の食料は保存されていると考えられることから、今のところ備蓄は考えておりま

せん。ただし、何らかの援護が必要な方々の分として、一定量は必要と思いますので、今後の課題と考えます。

質 防災無線の古い型のアナログ式の機種は、新しくする必要があるのであるのでは。また、新しく購入するスクールバスへの取り付けは。

答 当分の間、現在の防災行政無線を使用しますが、アナログからデジタルへの移行動向を注視し、使用期限等が具体的にになった段階で検討を行います。新しく購入するスクールバスへは、現在の防災無線を移し替え使用したいと考えています。



飯野 咲子 議員

子育て世代応援と安全安心の取り組みを

町長 中学3年生までの医療費を無料にする



質 定住政策の推進をはじめ、まず取り組むべきは若い人を応援する事が最重要と考えます。子ども医療費を中学3年生まで、すべて無料にしては。

答 今回の補正予算に計上していますが、7月1日より中学3年生まで完全無料化を行います。

質 この度の大震災をふまえ、子供たちや町民への確かな情報の提供と、ハザードマップの作成を西川小学校開校前に作成すべきでは。

答 ハザードマップの作成状況につきまして、佐藤耕二議員へお答えしたとおり、全地域のハザードマップ完成は平成24年度以降になる見込みです。

質 日本のエネルギー政策を原発に依存する政策から撤退すると言う決断を行うことと、子どもたちのために放射線量の濃度を測る測定器を今備える必要があると思うが。

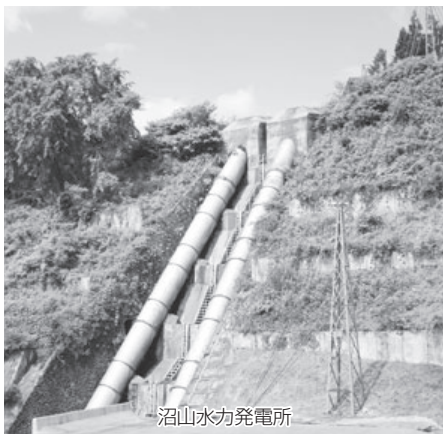
また、自然エネルギーへの取り組みについて

でどうなっているか。

答 国が今回の事故により原発からの代替エネルギー対策や民意を含め、どのような政策を打ち出すのか注目しているところです。

放射線測定器については、用途により多種の機器があり、測定内容を検討し前向きに取組みます。

自然エネルギーと再生可能エネルギーについては、平成17年度に「地域新エネルギービジョン」を策定し取組んでいます。



沼山水力発電所



※ハザードマップとは「災害予測図」のこと。

西川町のハザードマップは、土砂災害防止法に基づき、山形県が調査し、「土砂災害警報区域」に指定されたものを基本として作成することになっています。



奥山 敏行 議員

地域を宝に誇れる教育で自立する心を育てる

町長・教育長 自然体験学習をより充実させていく

質 西川町は保育園から高校までバス通学になり、地域を歩く事が少なく自分の周りの自然を知らない子供達が多く育って行く事に対してどう考えるか。

答 統合後の通学については拠点方式のバス停乗降ですが、可能な限り徒歩通学も含めることで検討していきます。また、現在各学校で実施している自然体験学習をより充実したものにすべく再検討しているところです。

質 六十里越街道の一部が、西川小学校アソウ地区から間沢まで寒河江川の岸辺を通っている。歴史ある道を遊歩道として復元しては。

答 統合小学校の周辺は六十里越街道史跡が残っており、子どもたちの学習に活かしたいと考えています。これまでも海味公民館や西山小でも散策を行っており、敷地内管理道とその前後の延長線として護岸道の設置も検討の余地があると考えています。

質 原区にある天狗山からの眺めは西川町の半分ほどが一望でき、天狗山を町民の軽登山の山として位置づけ、西川町で整備をしてはどうか。

答 天狗山は四季を通じて登れる魅力的な山です。学校教育では西山小や沼山小では毎年登山していますし、一昨年からは町内の1年生がカリキュラムとして登山しています。町民軽登山の件につきましては、第5次総合計画後期実施計画の地域資源を宝に磨き上げる地域づくり計画との兼ね合いから、地区民のみならず多くの方々

質 六十里越街道と原区を吊橋で結ぶ事で、西川町の計り知れない財産となり、全国的にも話題性のある学校として、歴史と観光の一端になると思うが。



答 河川周辺環境を活かした体験学習は現在も実施しており、そこに吊橋構想は町民の憩いの場や子どもたちの学びの橋として、観光となるかどうかは別にしても、夢があり大変面白いと思います。しかし、ハード面の大きな整備でもあり、今後多くの町民と議論しながら検討すべき課題だと思います。

質 六十里越街道と原区を吊橋で結ぶ事で、西川町の計り知れない財産となり、全国的にも話題性のある学校として、歴史と観光の一端になると思うが。

答 河川周辺環境を活かした体験学習は現在も実施しており、そこに吊橋構想は町民の憩いの場や子どもたちの学びの橋として、観光となるかどうかは別にしても、夢があり大変面白いと思います。しかし、ハード面の大きな整備でもあり、今後多くの町民と議論しながら検討すべき課題だと思います。

※拠点方式のバス停乗降とは通学バスが、児童生徒の家を回るのではなく、停留所を定めて、バス乗り場とすること。





佐藤 幸吉 議員

町政を身近なものにするために

町長 地域座談会を行い、頂戴した意見を政策に反映していく

質 町民と一緒にやってこの町を作っていく決意と協働の町づくりの指針になる共通認識を町民とともに作ってほしい。

答 町の進むべき方向性が共通認識として確認できれば、町民にとって明るい希望と生きる力が湧いてくるし、強いては「西川町が元気に」なるのではないかと町長として町をリードするにあたりどのような考えで方向性を示していくのか。また、町民との対話はいつどのような形で計画しているのか。

町政運営にあたって私の考えは、選挙で示した6つの公約で、これを進める手法は、昨年度策定した第

5次総合計画後期実施計画です。

私の公約を施策として盛り込み、座談会のご意見も反映しました。

今年度も、地域座談会を9月から予定しており、ご意見を来年度予算編成に反映していきます。



平成22年度 地域座談会

質 地域支援職員派遣事業については、職員が地域に入り地域課題の把握とその解決のため、地域づくり計画を策定する事業であると考えますが、地区ごとの取り組みと進捗がまちまちである。

町の姿勢を明確にし、目的の意思統一を図り、もっと積極的に取り組む必要があるのではないかと。
この事業は、町民との共通認識づくりの基本となるものであると考えるが。

答 これまでは、それぞれの地域での調査・活動支援を主体とするものであり、地域の状況により活動内容も異なっておりました。今回の目的は、地域

づくり計画策定支援です。地域との打合せ、地域支援職員への研修を実施しながら、平成24年度末まで地域づくり計画を策定していただきたいと考えています。





古澤 俊一 議員

大震災をふまえ、町の防災体制について

町長 自主防災組織活動が有効と考える

質 東日本大地震で全町が停電し、町民は不安な一夜を過ごしたが、行政の、町民への不安に対する対応はどのように図られたか。

各地域に対して、広報車で、情報や状況等の周知はできなかったのか。

民生児童委員宅を訪問して、情報提供と一人暮らしや老人世帯等の訪問をお願いしました。

早期の個別訪問が大変喜ばれ、不安が解消されたのではないかと思っています。

答 東日本大地震は役場で震度4を観測し、全町が停電、電話も不通になったので、町立病院、保育園、ケアハウス等公共施設を巡回し、人的及び施設被害の有無の確認を行いました。

また、当日は、職員が手分けして要援護者世帯を巡回し、安否及び被害確認と火気注意の啓発を行い、翌日には、区長や町内会長、

今回の教訓として、停電に伴う情報の提供に課題を残しましたが、全国的な問題であり、当町のような点在集落の場合は、自主防災組織の活動が有効であると考えています。

広報車活動は、雪囲い等で聞こえにくいことから、効果が期待できないと判断し、対応しませんでした。



質 大規模な災害が発生すれば、想像を絶する被害が出るが、被災地である自治体の応急復旧活動能力は皆無に等しい。自治体間、民間事業所等、その他関係機関との災害応援協定の締結は。

現在、国交省東北地方整備局、東北電力天童営業所、町建設クラブ及び町総合建設組合、寒河江西村山建設コンサル協議会と協定を締結しています。今後も必要に応じ随時

協定を締結したいと考えています。

質 日頃、寒河江ダム放流の音声と警報は耳にするが、「万が一の緊急の危険を報せる音声・警報」は、別にあるのか。

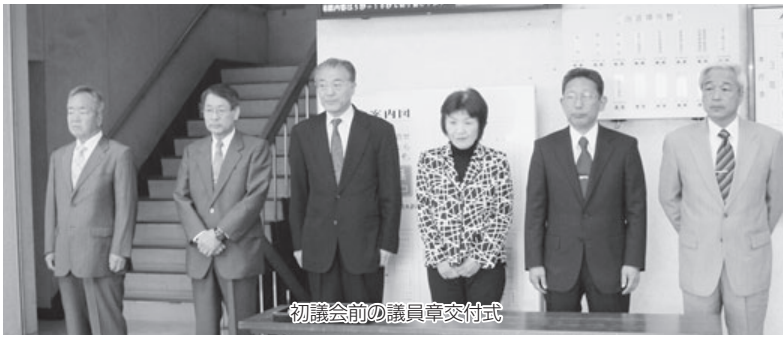
全町が停電の場合、警報装置は作動するのか。

答 放流警報表示装置の警報音は、サイレン吹鳴とスピーカーによる擬似音と音声注意放送であり、その他の警報音はありません。

停電になっても、2時間はバッテリーで作動するそうです。



各地区にある放流警報装置



初議会前の議員章交付式

議会の動き

平成23年度 議会報告会日程

期 日	時 間	地 区	場 所
7月25日(月)	10時から	志 津	志津会館
	19時30分から	陸 合	陸合公民館
7月26日(火)	19時30分から	大井沢	大井沢交流センター
	19時30分から	岩根沢	岩根沢公民館
7月28日(木)	19時30分から	吉 川	吉川地区研修センター
	19時30分から	本道寺	本道寺地区集会センター
7月29日(金)	19時30分から	入 間	入間公民館
	19時30分から	間 沢	間沢公民館
8月 1日(月)	19時30分から	沼 山	沼山多目的集会センター
	19時30分から	綱 取	綱取公民館
8月 2日(火)	19時30分から	水 沢	高齢者コミセン
	19時30分から	小 山	小山児童館
8月 4日(木)	19時30分から	海 味	海味公民館

議会全員協議会

■5月20日
初議会の進め方について協議

6月7日

次の9件について、担当課から説明を受け、質疑を行う

- ・第20期西川町総合開発株式会社社の経営状況について
- ・第5期株式会社米月山の経営状況について

平成23年度地域づくりについて

- ・廃校舎の活用について
- ・西川小学校の建設状況及び開校に向けての準備状況について
- ・西川小学校校歌・校章の制定について
- ・西川小学校図書館の活用について
- ・雇用促進住宅の購入及び今後の運営について
- ・西川町次世代育成支援後期行動計画について

6月29日

平成23年度議会報告会や議員報酬のあり方、議員申合せ事項について協議

議会報告会は、7月25日(月)から8月4日(木)の間に実施することになりました。

議会運営委員会

5月27日

平成23年度6月定例議会の運営について協議

6月24日

議会報告会、災害ボランティア等について協議

常任委員会

◎総務厚生常任委員会

6月7日

平成23年度の調査項目を決定

- 教育行政について
- ・小中学校の登下校路の安全対策等
- ・新町立図書館のあり方
- ・廃校となる校舎の活用について

□防災行政について

- ・ハザードマップのあり方
- ・寒河江ダム、治山ダムの安全確認
- ・各地区における防災対策
- 光ケーブルの高度利用について
- その他所管事項について

7月12日

所管事務調査
・教育委員会

◎産業建設常任委員会

6月7日

平成23年度の調査項目を決定

- 第三セクターの経営改善について
- 総合産業化に向けた農林商工業の振興について
- その他所管事項について

6月20日

所管事務調査
・産業振興課

◎広報公聴常任委員会

5月24日

町村議会広報研修会

6月9日

平成23年度の調査項目を決定

- 議会だよりの発行について
- ホームページの更新について
- 町民からの意見聴取について
- その他所管事項について

6月23日

東日本大震災後の状況確認(ボランティア活動)

議会だより編集会議

- 6月10日
- 6月15日
- 6月21日
- 6月30日
- 7月6日
- 7月8日



6月定例議会の傍聴風景

なお、インターネットでの視聴件数は164件でした

『古道』シリーズ 1

六十里越街道と月山

六十里越街道案内人クラブ

古澤 準 一 さん (綱取町内会)



四ツ谷の姥さま

六十里越街道で、後世に残したいと思う道は、江戸時代の旅行記に「道ヨシ」と記されていた弓張平の石畳の道です。

六十里越街道は、産業や文化、信仰、戦の道として、内陸と庄内を結ぶ重要な道でした。

十年ほど前に、六十里越街道の復興に尽力された矢野光夫先生に出会ったことで、若い時分から関心があった「昔の道」への関心が更に高まり、もっと学びたいと思うようになりました。歩く手段しかなかった昔、街道をどんな人が歩き、沿道の住民はどんな生活をしていたのか。残された地名や追分石、絵図を頼りに、古道をたどり、石像に出会ったときなどは、当時の人々の暮らしが見えたような気がします。

古い文献に、丑年には、出羽三山参りの人で六十里越街道に行列ができた、と書かれています。「岩根沢では、お行様を迎えるために音楽隊を連れて、綱取の茶屋まで出向いた。綱取から岩根沢まで、賑やかにお行様の列が続いたものだ。」と、最近、あるお年寄りから教えてもらいました。

このような、ごく最近まで続

いたことでさえも、誰かが伝えていかなければ、忘れ去られてしまいます。

感謝と祈りが、日常生活の中にあたりまえに存在した時代の三山参りは、農作業の合間の、楽しみな旅行でもあったように感じています。

西川町には、岩根沢・本道寺・大井沢の三口から、月山へ続く道があります。この道を歩き、千年を越えて今なお続く月山詣での歴史を、楽しんでいただきたいと思います。

歴史は、共通の宝です。多くの方に町の歴史とその価値を知っていただき、この宝をみんなで守り、町づくりの資源として活かしたいと考えています。

私は、六十里越街道案内人クラブで学ぶことで、自信をもって語ることができるようになりました。これからも町内にある歴史を掘り起こして、後世に伝える役割を担いたいと思っています。



77号の表紙

天狗山



西川町の中心部、原区に位置する天狗山の山頂から西川町の主要施設を一望することができます。

眼下には、来年の春にやって来る子どもたちを心待ちにして、着々と準備を進めている西川小学校の様子が見えます。

天狗山は、小学一年生でも1時間ほどで山頂まで行くことができます。山頂からの眺めを楽しんでみませんか。

編集後記

フレッシュな広報広聴常任委員会メンバーで作成した、初めての議会だよりです。

全員素人ですが、町民の皆さまに親しまれる「議会だより」を心がけ、編集しました。

西川町にはたくさんのお光スポットがあり、その一つである天狗山を表紙に、そして最終ページでは、全国に誇れる観光資源である六十里越街道などの歴史を一所懸命守ろうとしている方々のお話を、「古道」シリーズとして伝えていきます。

議会の一般質問コーナーでは、質問と回答を、読みやすいように工夫をしてみました。

これからも、議会活動と西川町の良さを分かりやすく伝えていきたいと思っておりますので、皆さまからご意見をお待ちしております。

(横山 修)

発行・編集責任者

議長 井場 榮治

編集委員

委員長 奥山 敏行

副委員長 横山 修

委員 飯野 咲子

委員 佐藤 耕二

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでもご覧いただけます

次回定例会は
9月です